

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 1 月 20 日 (2005.1.20)

【公表番号】特表 2003-523186 (P2003-523186A)

【公表日】平成 15 年 8 月 5 日 (2003.8.5)

【出願番号】特願 2001-553948 (P2001-553948)

【国際特許分類第 7 版】

C 1 2 N 15/09

A 6 1 P 15/18

C 0 7 K 16/40

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/10

C 1 2 N 9/36

C 1 2 Q 1/02

// A 6 1 K 38/46

A 6 1 K 39/00

A 6 1 K 39/395

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/12

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 P 15/18

C 0 7 K 16/40

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 9/36

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 N 5/00 A

A 6 1 K 37/54

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/12

【手続補正書】

【提出日】平成 14 年 9 月 18 日 (2002.9.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

免疫応答を誘導するための組成物であって、

配列番号：8、配列番号：8 の断片、1～8 個の保存的アミノ酸置換により配列番号：8

とは異なる配列、及び単一のアミノ酸の除去、挿入又は置換を示す単一変異により配列番号： 8 とは異なる配列から成る群から選択されるアミノ酸配列を有するポリペプチド；ならびに

医薬として許容されるキャリアー；
を含んで成る組成物。

【請求項 2】

アジュバントを更に含んで成る、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記ポリペプチドが配列番号： 8 の配列又はその断片を含んで成る、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

免疫応答を誘導するための組成物であって、

配列番号： 9、配列番号： 9 断片、1 ～ 8 個の保存的アミノ酸置換により配列番号： 9 とは異なる配列、及び単一のアミノ酸の除去、挿入又は置換を示す単一変異により配列番号： 9 とは異なる配列から成る群から選択されるアミノ酸配列を有するポリペプチド；ならびに

医薬として許容されるキャリアー；
を含んで成る組成物。

【請求項 5】

アジュバントを更に含んで成る、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記ポリペプチドが配列番号： 9 の配列又はその断片を含んで成る、請求項 4 又は 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

配列番号： 8 又は配列番号： 9 に示すアミノ酸配列を有するポリペプチド。

【請求項 8】

潜在的ヒト療法剤のスクリーニング方法であって、C 1 9 又は C 2 3 タンパク質と候補化合物とを接触せしめ、そして前記候補化合物が前記 C 1 9 又は C 2 3 タンパク質と選択的に結合するか否かを決定する、ことを含んで成る方法。

【請求項 9】

前記 C 1 9 又は C 2 3 タンパク質が細胞の表面で発現される、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

配列番号： 2 のタンパク質に特異的に結合する抗体。

【請求項 11】

配列番号： 4 のタンパク質に特異的に結合する抗体。

【請求項 12】

配列番号： 8、配列番号： 9、配列番号： 8 の断片、及び配列番号： 9 の断片から成る群から選択されるアミノ酸配列を有するタンパク質を含んで成る避妊性製剤。

【請求項 13】

個体の受精能を調節するための組成物であって、配列番号： 2、配列番号： 4、配列番号： 2 の断片、及び配列番号： 4 の断片から成る群から選択せれるアミノ酸配列を有するタンパク質を含んで成る組成物。

【請求項 14】

免疫応答を誘導するために個体に注射される、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 15】

ヒト以外の個体の受精能を調節する方法であって、配列番号： 2、配列番号： 4、配列番号： 2 の断片、及び配列番号： 4 の断片から成る群から選択せれるアミノ酸配列を有するタンパク質を前記個体に投与することを含んで成る方法。

【請求項 16】

免疫応答を誘導するために前記タンパク質を個体に注射する、請求項 15 に記載の方法。